

絵本紹介



3歳未満児の各クラスの先生のおすすめの絵本を紹介します。

尾形 光穂先生

題名:『ねんねん ねこねこ』 作・絵:ながのひでこ 出版社:アリス館

「ねんねんねこねこ ねんねんねこねこ ねーこのこねこ」歌うようにリズムを付けて読むと、リズムカルなことばと繰り返しの言葉に子どももついつい口ずさむことがあります。時々「ねんねんねんねん…」と止まらなくなり、思わずクスッと笑いを誘われることもあります。大人になってからこの絵本を知り子どもたちと読みましたが、子どもとのやりとりに心が温かくなり好きな絵本になりました。



和田 鈴音楠先生

題名:『あーんあん』 作・絵:せなけいこ 出版社:福音館書店

「あーんあん」のお話は、保育園でお母さんと離れるときに悲しくて泣いてしまい、その涙につられて友達も泣いてしまうという絵本です。「あーんあん」のシーンでは、子どもたちも実際に泣き真似をしながらやりとりを楽しんでいます。



石亀 彩先生

題名:『くまさんくまさんなにみてるの?』 作:ビル・マーチン 絵:エリック・カール
出版社:偕成社

次のページにはどんな動物がいるか、何色かと子どもたちと想像しやりとりをしながら楽しめます。色や動物を楽しみながら鳴き真似をしたり、動きの真似をしたりして遊びも広がる楽しい絵本です。

